

由利本荘市立東由利中学校



だ い や ま

ふ ふ ん ふ け い
不 憤 不 啓

ふ ひ ふ は つ
不 悱 不 発

【学校教育目標】
清らかに たくましく

学校だより No. 25

R5.11.16 (木) 発行

バドミントン部 全県ダブル優勝 東北大会へ

11月11日(土)～12日(日)にかけて行われた全県秋季バドミントン大会において、バドミントン部のみなさんが、女子団体戦優勝、そして女子個人戦ダブルスでも、齊藤香里奈さん・佐藤遥さんペアが優勝する大活躍をしました。おめでとうございます。

東由利中学校全員で選手の健闘を讃え、活躍に拍手を送りたいと思います。

バドミントン部のみなさんは、この後12月26日から青森県黒石市で開催される東北大会に出場することになっています。

バドミントン部のみなさんの更なる健闘と活躍を祈っています。

※ 試合結果の詳細については、学校ホームページをご覧ください。



活性化中学生選手権 審査員特別賞

11月11日(土)に秋田魁新報社主催による、第4回秋田活性化中学生選手権全県大会が秋田市のさきがけホールで行われました。大会には、本校の1年生チームを含め県北県央・県南大会を勝ち抜いた優秀校6校(阿仁学園、大館東、大曲南、平鹿、男鹿南)が出場し、それぞれが訪問した地元企業と活性化案を発表しました。

本校以外の中学校は、全員が2年生や3年生を中心とした発表で、内容もそれぞれ素晴らしく、発表順が最後の本校にとっては、県央地区大会以上にプレッシャーがかかる状態でした。しかし、そのプレッシャーをはねのけて、堂々とした発表で、見事準グランプリである審査員特別賞(大納川賞)を獲得しました。

本校のプレゼンテーションは、大変レベルが高く、企業理解度や地元愛の強さが出ていて、会場に感動を与える素晴らしいものでした。

夏休み前からここまで本当によく頑張ってきたと思います。1年生全員に心から拍手を送りたいと思います。お疲れ様でした。



パラアスリートが来校 (11/10)

11月10日(金)の3、4校時にアスリート全国派遣プロジェクト「アスリーチ」事業として、東京パラリンピックの『ゴールボール』競技に日本代表チームの一員として出場した佐野優人選手(23歳)が本校に来てくれました。

佐野選手は、もともと運動が得意で、中学生までは野球少年として活躍していました。高校も野球で進学が決まるぐらいの選手でしたが、突然の病気発症により両目の視力が失われて、大好きな野球が出来なくなってしまったそうです。将来を悲観し、自暴自棄になった時もあったそうですが、『ゴールボール』と出会ったことにより再び元気を取り戻し、パラリンピックをめざすまでになったということでした。

今回の事業では、そうした佐野選手の生い立ちや人生の考え方などの講話とともに、実際に全校生徒が『ゴールボール』の指導をしていただき、体験させてもらうことも出来ました。視力が効かない状態でプレーすることの難しさと、パラリンピックの格闘技といわれるほどの激しい競技であることが分かりました。

今回の事業では、そうした佐野選手の生い立ちや人生の考え方などの講話とともに、実際に全校生徒が『ゴールボール』の指導をしていただき、体験させてもらうことも出来ました。視力が効かない状態でプレーすることの難しさと、パラリンピックの格闘技といわれるほどの激しい競技であることが分かりました。

佐野選手の前向きな生き方や考え方に学ぶと共に、来年のパリパラリンピックでの佐野選手の活躍をみんなで応援したいと思います。

※ 体験の様子は、学校ホームページをご覧ください。



3年生が保育園訪問を実施 (11/13)

11月13日(月)2、3校時に3年生が家庭科の学習としてえみの森保育園を訪問しました。今回は、10月23日(月)に続いて2回目の訪問でした。今回は、自作の遊具をもっての訪問でしたが、園児たちと触れ合う3年生の姿は、普段学校ではなかなか見ることのできない、体験活動ならではのものでした。

